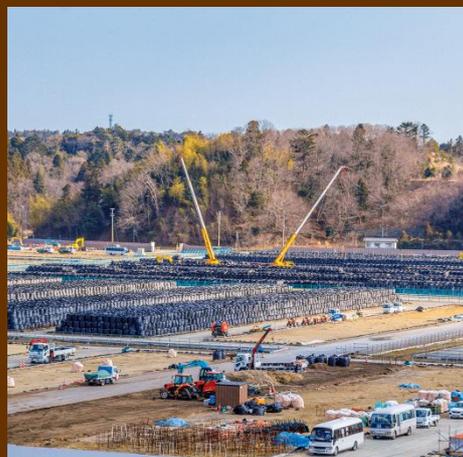


JICA研修員の皆様を対象とした ホープツーリズムモニターツアー

2018年3月16日（金）～18日（日） 2泊3日



このツアーは「各分野で復興に向け挑戦する福島の人々（ヒューマン）との対話」と「福島のありのままの姿（光と影）」に焦点を当てた学びのツアーです。震災・原発事故直後から現在に至るまでの復興の歩みや復興に向け奮闘を続ける人々の生の声を参加者の皆様に感じてもらい、ツアーを通じ福島の現状について理解を深めることはもちろん、震災・原発事故の教訓を踏まえ、これからの世界・地域の将来を考えてもらうことを目的としています。

来て



フィールドパートナー

伴場 賢一（ばんば けんいち）さん

（一社）Bridge for Fukushima 代表理事

1970年福島県生まれ。大学卒業後は地元の銀行員として勤務したのち、医療系の国際NGOに転職。FAO（国連食糧農業機関）カンボジア事務所にてコンサルタントとして勤務した後、JICA海外長期研修生としてイギリスLSE（London School of Economics）に修士留学し社会政策を学ぶ。2011年の東日本大震災後は、支援活動を行うために福島県に帰郷。途上国で共に働いていた友人の後押しもあり、一般社団法人Bridge for Fukushimaを立ち上げ、ボランティアツアーや地元の事業者支援に取り組んだ。現在は未来の福島、日本、世界を担う高校生や大学生のリーダー人材育成に尽力している。

◆集合場所・集合時間

仙台駅東口
観光・送迎バス乗降場
2F ペDESTリアンデッキ
9:45 集合

(集合時間には余裕をもってお越し下さい)

運行バス会社：福島観光自動車株式会社



1日目

3/16
FRI

*GS=Guest Speaker.

- 10:00 仙台駅 発<貸切バス>
- 11:20 相馬市・たこ八 着
 - 昼食
- 12:05 たこ八 発
- 12:15 相馬市・和田観光苺組合 着
 - いちご狩り体験
- 13:00 和田観光苺組合 発
- 13:15 レナトスソーラーパーク 車窓見学
- 14:15 富岡町・株式会社ふたば 着
 - GS*①株式会社ふたば 遠藤秀文さん
- 15:15 株式会社ふたば 発
- 15:40 富岡町・福島発電株式会社
 - GS②福島発電株式会社 鈴木精一さん
- 17:10 福島発電株式会社 発
- 17:20 富岡ホテル(宿泊) 着
 - 18:00~ 夕食

和田観光苺組合

相馬市の名産である苺を栽培する農家。津波で壊滅的な被害にあい、一時休園を余儀なくされた。震災後は土耕栽培から放射能汚染の心配が少ないハウスの水耕栽培に切り替えて苺を栽培し、賑わいを取り戻しつつある。

レナトス相馬ソーラーパーク

2017年6月1日から稼働しているメガソーラー。現在稼働中のメガソーラーとしては、県内で最大の規模。津波被害を受けた集落跡地と、塩害により耕作ができなくなった農地を利用して設置された。太陽光パネルは約20万枚で、年間発電量は、一般家庭約1万6660世帯分の消費電力量に相当。



GS① 遠藤 秀文 (えんどう しゅうぶん) さん

株式会社ふたば 代表取締役社長

富岡町出身。農業土木の測量会社として創業した父親の会社を継いだ。3年後に東日本大震災が発生。震災直後から、道路・河川・海岸堤防・漁港の復旧工事や被災した施設のデジタルアーカイブ化(レーザー測量)に携わった。



GS② 鈴木 精一 (すずき せいいち) さん

福島発電株式会社 代表取締役社長

福島県の出資を受け、2013年に設立。現在は関連企業や市町村も株主となっており、再生可能エネルギーによる発電事業を行っている。地域主導による再生可能エネルギー事業の推進を基本方針に掲げている。

2日目

3/17
SAT

- 08:30 富岡ホテル 発
 - 08:45 富岡町・夜ノ森地区 着
 - 見学
 - 09:00 夜ノ森地区 発
 - 09:15 富岡町・東京電力旧エネルギー館 着
 - GS③東京電力社員
 - 10:15 東京電力旧エネルギー館 発
- <国道6号線(大熊町・双葉町通過)>

夜ノ森地区(富岡町)

避難指示が解除された区域と帰還困難区域が隣接する地区。浜通り随一の桜の名所であり、2.5キロに渡る桜の並木がある。現在は桜並木の8割の区間が帰還困難区域に指定されている。



GS③ 東京電力職員

福島第一原子力発電所の廃炉進捗状況や東京電力福島復興本社の復興に向けた取組、廃炉や復興に向けた思いについて率直に語っていただく。

国道6号線の通過

一部が帰還困難区域を含む避難指示区域。原発事故がもたらした現実を体感することができる。なお、この区間(42.5km)を時速40kmで通過する場合、片道の被ばく量は1.2μSvで、これは胸のレントゲン撮影による被ばく量の50分の1以下の値(平成27年6月 内閣府原子力被災者生活支援チーム公表)。

2日目 3/17 SAT

- 10:50 浪江町・ゲストハウスあおた荘 着
 - GS④小林奈保子さん
- 11:50 ゲストハウスあおた荘 発
- 12:10 浪江町内視察
 - 浪江町立請戸小学校見学
(建物内には入れません)
- 12:45 浪江町 発
- 13:00 南相馬市・双葉屋旅館 着
 - 昼食
 - GS⑤双葉屋旅館 小林友子さん
 - GS⑥小高を応援する会 3B + PLUS1 廣畑裕子さん
 - 南相馬市小高区視察 (廣畑さんアテンド)
- 16:15 南相馬市小高区視察 終了
- 16:40 南相馬市・ダイワリンクホテル(宿泊) 着
 - チェックイン
- 16:55 ダイワリンクホテル発
- 17:00 南相馬市・DEN 着
 - 17:00~18:30 振り返り
 - 18:30~20:00 夕食
- 20:00 DEN 発
- 20:05 ダイワリンクホテル 着



GS④ 小林 奈保子 (こばやし なおこ) さん

なみとも 代表 / ゲストハウスあおた荘 副管理人

田村市出身・浪江町在住。地元・田村市の避難住民や帰還住民の生活支援をする「田村市復興応援隊」の一員として活動。地域活動支援や地域の情報発信を精力的に行う。

浪江町立請戸小学校

浪江町請戸地区にある小学校。海岸から約300メートル、東京電力福島第一原子力発電所から約6キロの場所に立地。浪江町請戸地区は津波により、請戸小学校や集会所など、ごく一部の建物以外は津波で流された。また請戸小学校も、一階の天井まで津波におそわれ、半壊の状態となった。



GS⑤ 小林 友子 (こばやし ともこ) さん

双葉屋旅館 女将

福島県旧小高町(現南相馬市小高区)出身。2002年より小高区で家業を継ぐ。原発事故による警戒区域の設定に伴い避難。南相馬市の仮設住宅から毎日、小高に通い、交流スペースの開設や花で駅前を彩るなど避難者のコミュニティ再生に尽力。2016年7月の避難指示解除に伴い、旅館営業を再開。



GS⑥ 廣畑 裕子 (ひろはた ゆうこ) さん

小高を応援する会 3B + PLUS1 代表

南相馬市小高区を訪れる人の交流拠点「おだかぷらっとほーむ」を運営。また、小高の今を伝えるためにWEB発信や情報誌「おだかだより」の発行をしている。

3日目 3/18 SUN

- 09:00 ダイワリンクホテル 発
- 10:00 いいたて村の道の駅までい館 着
 - 休憩
- 10:15 いいたて村の道の駅までい館 発
- 10:30 飯館村・宿泊体験きこり 着
 - 10:30~12:00 GS⑦渡辺とみ子さん
 - 12:00~13:00 昼食
 - 13:00~14:30 ワークショップ
- 14:30 宿泊体験きこり 発
- 17:00 仙台駅 着 解散



GS⑦ 渡邊 とみ子 (わたなべ とみこ) さん

いいたて雪っ娘かぼちゃプロジェクト協議会 会長
までい工房美彩恋人 代表

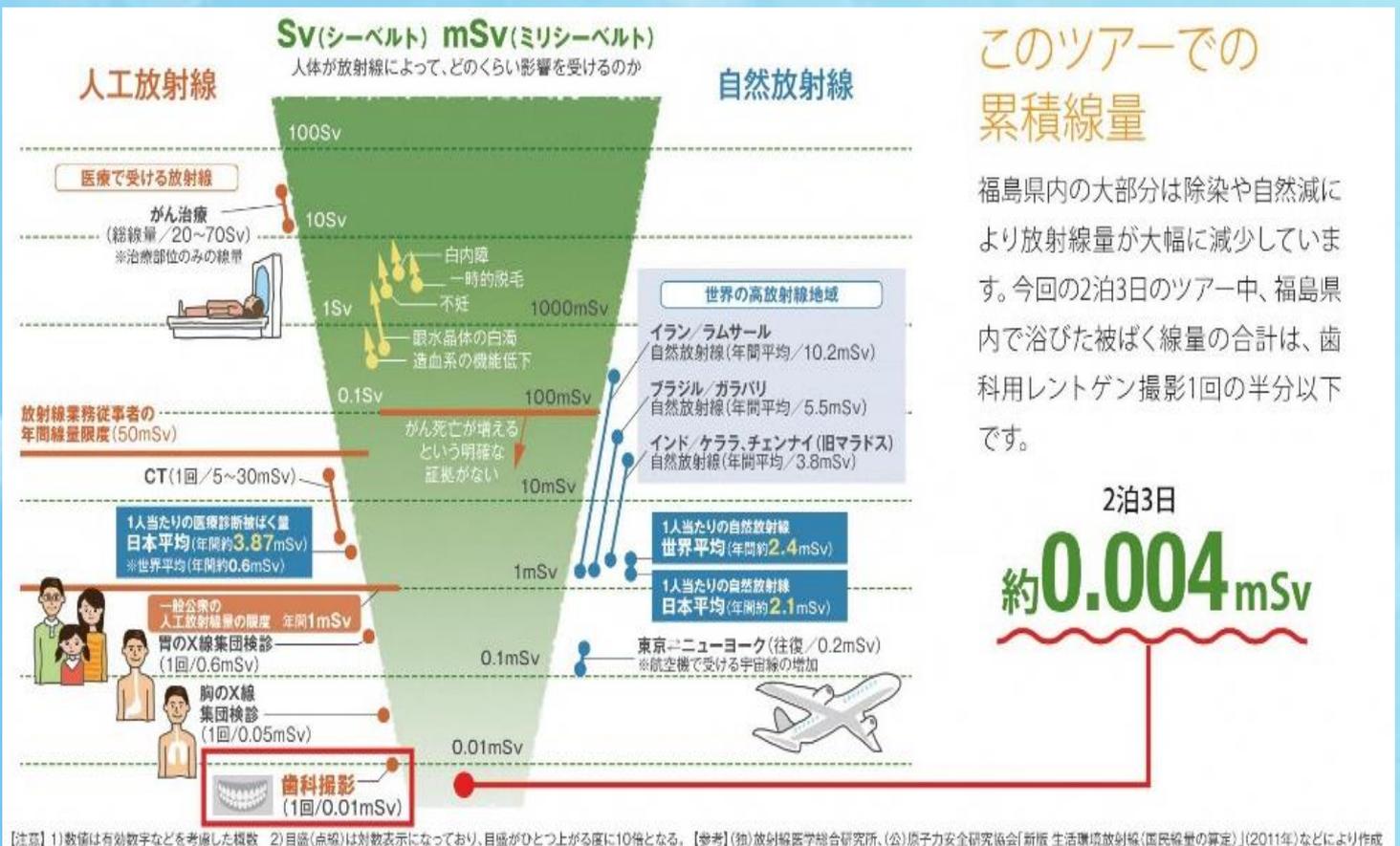
震災前から飯館村の特産品種イータテベイク(ジャガイモ)やいいたて雪っ娘(カボチャ)の生産に携わる。震災・原発事故後、避難を余儀なくされた町村内の郷土料理の昔ながらの味を繋げ・発信するために「かーちゃんのカ・プロジェクト協議会」をスタートさせる。

◆宿泊先

	ホテル名	住所・電話番号	アメニティ							医療機関
			タオル	浴衣	歯ブラシ	ドライヤー	リンス・シャンプー	ボディソープ	カミソリ	
1日目	富岡ホテル	福島県双葉郡富岡町大字仏浜字釜田122-6 ☎ 0240-22-1180	○	○	○	○	○	○	○	いわき市立総合磐城 共立病院 ☎ 0246-26-3151
2日目	ダイワリンクホテル	福島県南相馬市原町区北原境堀81-1 ☎ 0244-26-5666	○	○	○	○	○	○	○	南相馬市立総合病院 ☎ 0244-22-3181

注意

- (1) 訪問先の大部分は、住民の方が日常生活を営んでいる「生活の場」です。いわゆる観光地ではありませんので、留意して行動してください。
- (2) 国道6号線(一部が帰還困難区域)を通行する予定です。この区間(42.5km)を時速40kmで通過する場合、片道の被ばく量は1.2マイクロシーベルトで、これは胸のレントゲン撮影による被ばく量の50分の1以下です(平成27年6月 内閣府原子力被災者生活支援チーム公表)。なお、全ての行程で添乗者が線量計を携帯し、空間放射線量を測定しながらツアーを実施します。
- (3) 放射線量が高く立ち入りが制限されている地域や、立ち入りに特別な許可が必要な場所への訪問は行いません。
- (4) 新聞・テレビなど報道機関が同行し、動画、写真の撮影、インタビュー等の取材を受けることが想定されます。
- (5) 参加者を対象とする感想文やアンケートをお願いする場合があります。なお、今後、福島県などが作成するパンフレット類やWeb発信などに、ツアー中に撮影した写真・参加者の皆さんの感想・アンケート結果などを使用する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (6) 悪天候に備え、雨具・防寒等お持ちください。
- (7) 皆様が安全なバス旅行となりますよう、全席シートベルト着用にご協力ください。
- (8) 旅程表記載の時間は目安となります。道路の混雑状況により、帰着時間が遅れる場合もございますので、予めご了承ください。



地図



